

岡山管内橋梁耐震補強工事現場技術業務委託(その5)

特記仕様書

平成31年 1 月

本州四国連絡高速道路株式会社
岡山管理センター

目 次

1. 業務概要	1
2. 適用すべき諸基準	3
3. 管理技術者	3
4. 現場技術員	3
5. 業務の実施	4
6. 監督員詰所の使用	4
7. 貸与品に関する事項	4
8. 業務用自動車の配置	5
9. 業務用通行車両証明書等の交付	5
10. 出張旅費等	5
11. PC等の取扱い等	5
12. 光熱水等の取扱い等	6
13. 補足事項	6
巻末様式（業務の執行体制）	7

1. 業務概要

- 1-1 業務名 岡山管内橋梁耐震補強工事現場技術業務委託(その 5)
- 1-2 路線名 一般国道30号 瀬戸中央自動車道
- 1-3 業務実施場所 主たる業務実施場所は、岡山県都窪郡早島町早島2985 (岡山管理センター内) とする。
- 1-4 業務の対象 本業務の対象となる工事の概要は、次のとおりとする。
- (1) 工事箇所 自) 岡山県都窪郡早島町早島 (早島IC)
至) 岡山県倉敷市曾原 (水島IC)

(2) 工事内容

※上下線別

工事名	岡山管内橋梁耐震補強工事(その1) (仮称)
工期	平成31年10月～平成34年3月 (予定)
工事内容 (予定)	(1) 工事箇所 自) 岡山県都窪郡早島町早島 (早島IC第四ランプ橋) 至) 岡山県倉敷市亀山 (六間川橋) (2) 工事内容 早島IC第四ランプ橋, 早島IC第五ランプ橋, 早島IC第六ランプ橋, 早島IC第七ランプ橋, 早島IC第八ランプ橋, 早島IC第十ランプ橋, 下野橋⓪①, 宮崎橋⓪①, 西田高架橋⓪①, 六間川橋⓪① (全14橋116径間※の耐震補強工事)
工事名	岡山管内橋梁耐震補強工事(その2) (仮称)
工期	平成31年10月～平成34年3月 (予定)
工事内容 (予定)	(1) 工事箇所 自) 岡山県倉敷市亀山 (亀山高架橋) 至) 岡山県倉敷市有城 (有城高架橋) (2) 工事内容 亀山高架橋⓪①, 有城高架橋⓪① (全4橋173径間※の耐震補強工事)
工事名	岡山管内橋梁耐震補強工事(その3) (仮称)
工期	平成31年10月～平成34年3月 (予定)
工事内容 (予定)	(1) 工事箇所 自) 岡山県倉敷市有城 (有城橋) 至) 岡山県倉敷市福江 (福江橋) (2) 工事内容 有城橋⓪①, 粒浦橋⓪①, 粒江橋⓪①, 粒江高架橋⓪①, 盃池橋⓪①, 曾原橋⓪①, 水島IC第一ランプ橋, 水島IC第二ランプ橋, 水島IC第三 ランプ橋, 福江橋⓪① (全17橋117径間※の耐震補強工事)

1-5 業務の内容

上記に示す未発注工事のうち監督員が指示する橋梁 (約120～170径間※に相当する橋梁数) について、現場技術業務委託共通仕様書[平成31年1月] (以下「共仕」という) 第2章 2-3「業務の内容」に示す現場技術業務を行うことをいう。

なお、本業務の対象橋梁 (約120～170径間※に相当する橋梁数) については、JB本四が別途発注する以下業務と相互に協力・連携し、分担して業務を実施することとする。

業務名 岡山管内橋梁耐震補強工事現場技術業務委託(その 2)
予定期間 平成31年4月1日 ～ 平成34年3月25日
受注者 (未定)

① 工事の発注準備・積算支援作業

業務内容	・ 共仕(別表1) 2. 発注準備、積算根拠資料作成に示す各項目 ・ 積算支援ソフトへの施工条件入力作業
実施時期	平成31年度第1四半期から平成31年度第2四半期まで

② 施工計画書等の照査

業務内容	・ 共仕(別表1) 3. 施工計画書の照査に示す各項目 ・ 全体施工計画、仮設計画、詳細施工計画、変更施工計画、施工要領書、建設副産物処理計画、交通規制計画等 [随時]
実施時期	平成31年度第3四半期から平成33年度第4四半期まで

③ 工事施工に必要な打合せ、立会

業務内容	・ 共仕(別表1) 4. 工事施工に必要な打合せ、立会に示す各項目 ・ 週間工程会議[1回/週・1h]、月間工程会議[週間工程会議と兼ねる]、安全大会・安全対策会議 [1回/月・4h] の参加 ・ 関係官公署、地元等との打合せ同行 [随時]
実施時期	平成31年度第3四半期から平成33年度第4四半期まで

④ 施工状況の確認等

業務内容	・ 共仕(別表1) 7. 施工状況の確認等に示す各項目のうち以下の項目(1), (2), (19), (22), (23), (24), (28), (29), (30), (33), (34), (35), (53), (54)
実施時期	平成31年度第3四半期から平成33年度第4四半期まで

⑤ 施工管理試験

業務内容	・ 共仕(別表1) 8. 施工管理試験に示す各項目
実施時期	平成31年度第3四半期から平成33年度第4四半期まで

⑥ 工法変更・設計変更

業務内容	・ 共仕(別表1) 9. 工法変更、設計変更に示す各項目
実施時期	平成31年度第3四半期から平成33年度第4四半期まで

⑦ 検査関係

業務内容	・ 共仕(別表1) 10. 検査関係に示す各項目
実施時期	平成31年度第3四半期から平成33年度第4四半期まで

⑧ 工事関係書類の確認及び整理(書類のファイリング・電子化)・保存

業務内容	・ 共仕(別表1) 11. 書類の確認、書類の整備に示す各項目
実施時期	平成31年度第3四半期から平成33年度第4四半期まで

⑨ 資料作成

業務内容	・ 共仕(別表1) 12. 資料作成に示す各項目 ・ 関係官公署との協議資料 国土交通省, 岡山県, 倉敷市, 早島町, 岡山県警察等 ・ 関係地元との協議資料 各地区の農業委員, 土木委員, 町内会長, 自治会長等 ・ 機構 [※] 引渡資料 (※独立行政法人 日本高速道路保有・債務返済機構)
実施時期	平成31年度第1四半期から平成33年度第4四半期まで

⑩ その他

業務内容	・ 共仕(別表1) 13. その他に示す各項目 ・ JB本四が主催する現場研修会, 安全巡視, 関係者による現場視察等における現場対応等 [2回/年] ・ JB本四が主催する維持工事安全対策協議会 [1回/年・4h] ・ JB本四が主催する岡山管内橋梁耐震補強工事安全対策連絡会(仮称) [1回/年・4h] ・ 会計検査受検に係る事前準備資料等の作成 [1回/年]
実施時期	平成31年度第3四半期から平成33年度第4四半期まで

なお、工事等概要及び業務内容に記載する時期・回数に大幅な変更がある場合は、必要な費用について発注者と受注者が協議して定めるものとする。

2. 適用すべき諸基準

共仕 2-1 に以下のものを追加する。

- (1) NEXCO設計要領（橋梁建設編），NEXCO設計要領（橋梁保全編）
- (2) NEXCO施工管理要領 土工，構造物，コンクリート
- (3) NEXCO土木工事積算基準、土木設計数量算出要領
- (4) JcMA橋梁架設工事の積算、橋梁補修補強工事積算の手引き
- (5) その他関連基準類等

基準類の年版は、工事発注時点で最新のものを適用する。

3. 管理技術者

3-1 管理技術者の資格要件

契約書第9条に定める管理技術者の資格要件は、共仕別紙「現場技術員の格及び資格要件等」に示す技師C以上の専門職種に関する資格等を満たすものとする。

なお、契約後、契約書第9条第1項に示す直接的かつ恒常的に雇用していることを確認する。

3-2 管理技術者の指揮監督

管理技術者は、本業務を適正かつ円滑に実施するため現場技術員が次に掲げる事項を適切に行えるよう現場技術員を指揮監督しなければならない。

- 一 本業務の実施にあたって、契約書、共仕及び本特記仕様書（以下「契約書類」という）の内容を十分に理解し、また、本業務を実施する現地等の状況について、十分に把握しておくこと。
- 二 本業務を正確かつ誠実に実施すること。
- 三 本業務の実施にあたっては、業務に関する図書を適切に整理しておくこと。

3-3 監督員等との打合せ

管理技術者は総括監督員、主任監督員及び監督員（以下「監督員等」という）と常に密接な連絡を取り、業務の方針及び条件の疑義を確認するものとし、業務着手月から業務完了月まで毎月1回、打合せを行い、打合せ結果については、共仕の関係項目に従って記録に残すものとする。

ただし、監督員等との協議により、必要に応じてこの打合せ以外に別途打合せを行うものとする。

なお、原則として打合せ回数の増加に伴う契約変更は行わない。

3-4 管理技術者の兼任

本業務については、2名以上の現場技術員を配置する場合、管理技術者は現場技術員を兼ねることができる。ただし、その場合は本特記仕様書4に示す資格要件等を満たさなければならない。

4. 現場技術員

現場技術員の格に対する資格要件等は、次のとおりとする。

- (1) 共仕別紙「現場技術員の格及び資格要件等」に示す資格等を満たすものとする。
- (2) 共仕別紙「現場技術員の格及び資格要件等」における別表2「専門職種の現場技術業務及び管理技術者経験年数」の「別に定める機関」は以下のとおりとする。

- ・国土交通省ほか関係省庁
- ・NEXCO各社
- ・首都高速道路（株）
- ・阪神高速道路（株）
- ・地方公共団体（都道府県に限る）
- ・JR各社

5. 業務の実施

5-1 配置技術者の技術職種

本業務の配置技術者に求める専門職種は、共仕別紙「現場技術員の格及び資格要件等」に示す「土木」とする。なお、配置技術者のうち少なくとも1名は技師C以上の専門職種に関する資格等を満たすものとする。

5-2 業務を行うことができる日

本特記仕様書 1-3 において、業務を行うことができる日は、次に掲げる日を除く日である。

- (1) 日曜日及び土曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する日
- (3) 年末年始（12月29日から1月3日まで）

5-3 管理センターを使用できる時間帯

本特記仕様書 1-3 において、岡山管理センターの一部を使用できる時間帯は、午前8時から午後10時である。

5-4 業務を行うことができる業務実施場所

共仕 1-10 に示す業務実施場所として、岡山管理センターの一部を無償（光熱水は除く）で使用できるものとする。

5-5 業務を行うことができる日及び時間帯の変更

本特記仕様書5-2及び5-3に示す事項に変更が生じた場合には、総括監督員へ申し出の上、変更ができるものとする。

5-6 夜間立会

本業務において、夜間立会は予定していない。夜間立会が必要となった場合は総括監督員と受注者で別途協議するものとする。

5-7 業務執行体制

共仕 1-9「業務実施計画書(1)業務の執行体制」については、巻末様式に記入するものとする。

6. 監督員詰所の使用

工事の受注者が、JB本四の指示により設置した監督員詰所については業務実施期間中、無償で使用できるものとする。

7. 貸与品等に関する事項

契約書第14条第1項に規定する貸与品は、次のとおりとする。なお、有償とする貸与品の使用料及び取扱いについては別に示すとおりとする。

品名	貸与予定数量	引渡場所及び引渡時期(予定)	貸与期間	使用料	備考
机(片袖)	2台	岡山管理センター 平成31年4月1日	平成31年4月1日 ~ 平成34年3月25日	無償	
椅子	2脚	〃	〃	無償	
ロッカー	2台	〃	〃	無償	
ヘルメット	2個	〃	〃	無償	JB名入, 警笛付
PC	2台	〃	〃	有償	

※PC(パーソナルコンピュータ)には、アプリケーションを含む。

8. 業務用自動車の配置

(1) 業務用自動車は次のとおりとする。なお、月当りの費用には、損料、燃料等の費用を含むものとする。

台数	期 間	用意すべき備品
2台	平成31年4月1日 ～ 平成34年3月25日	・車止め

① 車止めは、駆動輪の片輪を前後から挟み込む2個一対のもので、当該2個を紐などで連結していること。

② 車両には工事関係者であることが分かる明示を行うが、これについては別途JB本四より貸与する。

③ 受注者は、上記期間中、JB本四の駐車場を無償で使用できるものとする。

(2) 業務用自動車の搭乗者障害保険の補償額は、1,000万円/名以上とする。なお、保険加入の写しを提出するものとする。

(3) 受注者は、工事現場において監督員等の緊急確認が必要となった場合等について、受注者の業務用自動車への同乗を求めることができるものとする。

9. 業務用通行車両証明書等の交付

共仕 1-16 に定める道路及び区間は、次のとおりとする。なお、この使用に要する費用については無償とする。

有料道路名	区 間	備 考
瀬戸中央自動車道	早島IC～児島IC	

10. 出張旅費等

10-1 出張旅費

本業務において、現場技術員に工場検査などの出張が生じた場合は、総括監督員と受注者で別途協議するものとする。

10-2 有料道路利用費

本業務において、JB本四が管理する以外の有料道路利用は予定していない。利用が必要となった場合は、総括監督員と受注者で別途協議するものとする。

11. PC等の取扱い等

(1) 受注者は、JB本四が貸与するPCの使用料及びその消費税等相当額を岡山管理センターに支払うものとする。使用料(消費税等相当額を含まない)は配置されたPC1台1ヶ月当たり 2,432円とする。

(2) 本特記仕様書 1-4 (2) 2) 工事に関する内業に示す「積算支援ソフトへの施工条件入力作業」に必要な積算支援ソフトは、受注者にて用意しJB本四が貸与するPCにインストールする。

積算支援ソフトの仕様は、次のとおりとする。

- ① 提供元 / 商品名 (株)ビーイング / Gaia10(スタンドアロン版)
- ② ライセンス数 2ライセンス
- ③ 収録積算要領 国交省(共通・一般土木)、NEXCO、橋梁架設工事の積算
- ④ 積算提供地区 岡山
- ⑤ 市販単価 建設物価、積算資料、土木施工単価、土木コスト情報
- ⑥ 単価更新 初期登録後、同一年度内に1回更新

これらの条件に変更が生じる場合は、総括監督員と受注者で別途協議するものとする。

1 2. 光熱水等の使用の取扱い等

受注者は、JB本四の施設を使用する現場技術員の光熱水費及びその消費税等相当額を岡山管理センターに支払うものとする。光熱水費(消費税等相当額を含まない)は配置された現場技術員1人1ヶ月当たり4,400円とする。

1 3. 補足事項

13-1 義務等

- (1) 業務実施に当たっては、常に厳正な態度で臨むものとする。
- (2) 作業服、安全靴、墜落制止用器具、デジタルカメラ(記録媒体含む)、コンベックスルール、野帳など常時身につけるものは、受注者において準備すること。
墜落制止用器具は可能な限り、改正安衛令に沿った形式のものとし、他の装備品については高所からの落下を防止するためのストラップ等を取り付けておくこと。
- (3) 現場における安全、その他の規律については、関連法令等を遵守すること。

13-2 受注者相互の協力

- (1) 本特記仕様書 1-4 に示す未発注工事について、以下の各業務の受注者と同時に履行するため、総括監督員の指示に従い、これら受注者と相互に調整し協力しなければならない。

① 業務名 岡山管内橋梁耐震補強工事現場技術業務委託(その 1)

予定期間 平成31年4月1日 ~ 平成34年3月25日

受注者 (未定)

② 業務名 岡山管内橋梁耐震補強工事現場技術業務委託(その 3)

予定期間 平成31年4月1日 ~ 平成34年3月25日

受注者 (未定)

③ 業務名 岡山管内橋梁耐震補強工事現場技術業務委託(その 4)

予定期間 平成31年4月1日 ~ 平成34年3月25日

受注者 (未定)

④ 業務名 岡山管内橋梁耐震補強工事現場技術業務委託(その 6)

予定期間 平成31年4月1日 ~ 平成34年3月25日

受注者 (未定)

- (2) 前号の各受注者のほか、先行している以下業務とも連携を図り、工事の課題や問題点を共有し、工事等が安全かつ円滑に進捗するよう努めなければならない。

業務名 宮池橋他3橋耐震補強工事他現場技術業務委託

予定期間 平成30年10月1日 ~ 平成33年3月19日

受注者 株式会社 三紀

別記様式 1

■業務の執行体制 ～ 記載例 ～

配置予定者の格	配置予定管理技術者の氏名 現場技術員の人数 業務用自動車の台数	配置予定期間	摘要
技師C	〇〇〇〇	(現場技術員と兼ねる)	管理技術者
技師C	〇名	平成31年4月1日～平成34年3月25日	現場技術員
技術員	〇名	平成31年4月1日～平成34年3月25日	現場技術員
業務用自動車	〇台	平成31年4月1日～平成34年3月25日	
【その他の支援体制等】			

※記入時の留意事項

- ・ 摘要欄には、「管理技術者」「現場技術員」の区分について記載すること。
- ・ その他の支援体制等欄には、緊急時における本店・支店等の支援体制を記載すること。

(用紙は、A4横とする)